

✧ 海外ニュース ✧

イギリス 2023年2月3日 Highways Magazine

■ SVD（停止車両探知）の捕捉率を保証する方法がない

No way to check SVD coverage

英国営道路会社 National Highways は、路肩の車線運用を行うスマート高速道路に向けた、SVD（停止車両探知）技術の完成度目標 95%の達成に苦心している。この目標は、National Highways の最高責任者が英国下院議員らに約束したものの、未だ道半ばという。SVD 装置が、道路外の対象物以外の物を拾ってしまい、停止車両と錯覚して探知してしまうためであり、この課題を克服して初めて、SVD 装置の利用要件をクリアしたといえる。

インド 2023年2月6日 Business Today

■ インドの道路交通担当大臣は、インドの道路開発に対するさらなる積極的な計画案を明らかにし、2024年までに米国と肩を並べると述べた

Nitin Gadkari has ambitious plans for India's roads, says they will be on par with US by 2024

印政府は、2024年までに自国の道路インフラを米国と同じ水準まで発展させる狙いであると道路交通担当大臣 Nitin Gadkari 氏は2月6日に述べた。同担当大臣によると、インドは既に世界で米国に次ぐ2番目に大きな高速道路網を保有しており、政府の任務は道路インフラを改善することであるという。同氏は道路インフラの財政について質問されて、インド政府に道路インフラ開発を実施する上で財政上の問題はないと述べている。また、道路開発は、インドの経済成長にとって有益であると応じている。

フランス 2023年2月7日 Journal du Net

■ 高速道路通行料金：2023年に新しい料金体系

Prix des péages : les nouveaux tarifs en 2023

フランスでは、例年と同様に今年も、道路の通行料金が2月1日から引き上げられる。平均して4.75%の値上げである。ガソリン代が2ユーロを超えて引き上げられたのに続き、今度は通行料金が引き上げられる。なお、通行料金は道路種別で若干異なる。また、政府と道路運営会社が毎年2月に通行料金を見直すのだが、消費者物価の動向を考慮するといわれている。

フランス 2023年2月8日 BMF Business

■ 電気料金の引き上げが自動車業界における電気自動車への移行に歯止めをかけている

COMMENT LA HAUSSE DU PRIX DE L'ÉLECTRICITÉ FREINE LA TRANSITION DANS L'AUTOMOBILE

83%のフランス人が、電気料金の引き上げが、自動車価格の高騰と道路利用料金の値上げに加えて、電気自動車の購入に重大な足かせになっていると捉えている。それでも、電気自動車を買いたいという人は根強く存在し、ここ数年のブームもあり、調査を受けた人のうち、26%が近い将来において電気自動車の購入を考えていて、18%のみがその購入計画を否定している。維持費についても、52%の人が従来のガソリン駆動の車両に比べて、電気自動車は安くつくと考えていて、その単純な構造から、故障などの弊害や修理時の費用も少ないとみている。

イタリア 2023年2月9日 Attualità Parlamento europeo

■ 自動車とトラックのCO₂排出量を55%まで削減する見通し

Pronti per il 55% : nuove norme sulle emissioni di CO₂ per automobili e furgoni

2023年2月7日に発令された新しい法規制によると、2035年までに新しく登録された自動車と軽商業車両につきCO₂の排出量をゼロに抑えることが規定されている。欧州におけるCO₂の実質排出量ゼロを目指すため、道路通行料を引き上げる法令である。2022年12月までに議会で合意された内容によると、2030年までに、自動車のCO₂排出量を55%まで、トラックについては50%まで削減する予定である。

ドイツ 2023年2月13日 Merkur.de

■ 緊急電話：見つける方法とその仕組み

Notrufsäulen : Wie man sie findet und wie sie funktionieren

ドイツのアウトバーンには17,000の緊急電話がある。携帯電話が不通になった場合、最後の手段になり得る。しかし、このオレンジ色の器具はどう使うのか？かつては、緊急時にすべての運転者の命を救うものだったが、今日では、その多くはほとんど注意が払われていない。ほとんどの人が携帯電話を持っているため、緊急電話の可能性について考える人はあまりいない。しかし、携帯電話は電池切れであるか、壊れているか、圏外のために使用できない場合がある。そして携帯電話の普及にもかかわらず、緊急電話は依然として活発に使用されており、2018年には約52,000件の緊急電話が受信された。

ドイツ 2023年2月14日 Süddeutsche Zeitung

■ アウトバーンのリニューアル補修工事に1億8,000万ユーロ

180 Millionen für Autobahn-Projekte

今年、約1億8,000万ユーロがラインラント・プファルツ州とザールラント州の高速道路建設プロジェクトに投入される予定である。作業は主に橋梁の更新と補修を行うものである。なお、アウトバーン会社の西支社は、2023年に、ヘッセン州、ラインラント・プファルツ州、ザールラント州の200以上の建設プロジェクトに合計約3億6,000万ユーロを投資する予定であり、この地域には約1,600kmの高速道路がある。

イタリア 2023年2月15日 Il sole 24 ore

■ フォード社、ヨーロッパで3,800名の雇用を削減する：電気自動車開発の影響

Ford taglierà 3.800 posti di lavoro in Europa : la scure dell' auto elettrica

フォード社は、市場条件の急激な変化と電気自動車部門における競合者の増加に対応するために、欧州での活動に関し新たな方策を発表した。ここ3年間で雇用を3,800人削減し、よりスリムで競争力のあるコスト構造を変化させることで、電気自動車の普及に取り組むことになる。これによりヨーロッパにおける同社の活動に息吹を吹き込み、新しいラインアップの乗用車を開発することで利益面での競争力をつけ、グローバル商用車フォード・プロをさらに展開しようとしている。

英国（イタリア） 2023年2月16日 World Highways

■ イタリアで主要道路計画が進行中

Key road projects planned for Italy

伊政府は、シチリア、カラブリア、プーリアおよびラツィオでの主要道路の開発工事に45億ユーロの予算を計上する。イタリアのCIPESS（経済計画および持続可能な開発のための省庁間委員会）が資金の出資を承認

し、高速道路運営会社である ANAS が同資金を活用する。

スペイン 2023年2月23日 Xataka

■ 自動運転車は、主流となるために大きな困難に直面しているが「白信号」が解決の糸口になるかもしれない

El coche autónomo afronta un gran escollo antes de ser masivo y los semáforos de "luz blanca" quieren solventarlo

自動運転車には問題があり、多くの場合、人間と直接に関わっている。変動要因が膨大なため、データの蓄積と処理が問題となってくる。車道を横断する子どもや、全力疾走する救急車などにも対応する必要がある。そこで解決策として登場したのが、4番目の信号である白信号である。赤、緑、黄色に加えて、新たに白の信号を設置し、自動運転車やコネクテッド自動車が交差点に大量に接近した際に、他の信号指示を無効化する仕組みである。その時は、前を走る人間のドライバーの車について行くだけである。これは交差点通過時に限られ、夜間の通行時に歩行者を避ける際には、人による細心の注意が必要となる。また、白信号の出ている交差点を過ぎると、ドライバーは、自分の意思で行きたい方向へと車を進めることになる。

スペイン 2023年3月1日 Europapress

■ Ferrovial 社は、株主の 2.57% が反対した場合、本社をオランダへ移転しないと発表

Ferrovial no trasladará su sede a Países Bajos si más del 2,57% de sus accionistas se opone a la operación

スペイン Ferrovial 社のオランダへの移転は、株主の 2.57% が反対の立場をとるかどうにかかっている。その理由の 1 つが、本社のオランダ移転が、米国の株主の傘下に入る可能性を含んでいるからである。この問題は、同社がスペインの公共事業とともに発展した会社であるだけに、スペインの国益に見合った処遇を受けるべきであるとして、政府の内外で論争を引き起こした。

ドイツ 2023年3月3日 Handelsblatt

■ ウィッシング氏は、トラックの交通量が大幅に増加すると予想し、高速道路を拡張する予定

Wissing rechnet mit deutlich wachsendem Lkw-Verkehr - und will deshalb Autobahnen ausbauen

フォルカー・ウィッシング連邦運輸大臣 (FDP) によると、トラックが今後数十年間、貨物輸送の主役であり続けるといふ。2051 年までの交通量を予測する新しい研究に言及した。それまでに、貨物部門の交通量は 46% 増加、鉄道は 33% の成長が見込まれている。道路は 54% の増加となり、道路が最大の役割を果たし、トラック配送の重要性はさらに高まる。ウィッシング氏は、現在の交通ルート計画は 2014 年にさかのぼり、2010 年のデータに基づいていると指摘した。新しい調査結果に対応し、道路の拡大を加速する必要がある。

ドイツ 2023年3月7日 BMDV

■ 最新の AI アルゴリズム - KI_CAM を使用した高速道路の交通カメラからの画像データの自動評価

Automatisierte Auswertung der Bilddaten von Verkehrskameras auf Autobahnen durch Anwendung aktueller KI-Algorithmen - KI_CAM

高速道路上の多くの危険は、認識も報告もないか非常に遅れて認識されている。交通カメラからの画像データは大きな可能性を秘めているものの、数千台のカメラを手動で監視することは非常に複雑であり、非常に限られた範囲でしか活用できないことから、大規模で確実な危険を検出するには、自動評価が必要となる。そこで、これが実現可能かどうかを検討する調査として、AI ベースの画像データ処理を使用したハザードとその原因の自動検出が可能な境界条件 (例えば、交通カメラの解像度と配置、視界条件など) を調べる。独アウトバーン会社の交通カメラから、交通の流れや天候などの参照データを含む画像データを 3 カ月にわたって収集する。

英国 2023年3月7日 Highways Magazine

■ 英政府は、地方を走行する車両の速度制限遵守の取り組みを実施すると発表

Government launches campaign against rural speeding

英政府は、特に地方の道路において、速度超過で走行する車両の危険性について啓発する道路安全キャンペーンを展開することにした。最近の統計によると、若い男性ドライバーが運転する車の重大事故および死亡事故を起こした衝突事故のうち60%が地方の道路で発生しているという。また英国では、毎週54名の若者がスピードの出し過ぎによって、死傷事故に遭っているという。これは、地方においてスピードを出し過ぎるリスクのみならず、注意散漫な運転や、地方に限らずさまざまな道路事情を鑑みて、注意すべきところと対策に関し警鐘を鳴らすのがキャンペーンの目的である。

米国 2023年3月7日 SmartBrief

■ ワシントン DC の会議で、道路通行料の徴収が州の財政収入源の一選択肢になると認められる

Tolling recognized as revenue option at D.C. meeting

米国州道路交通当局者協会の会合が先週、ワシントン DC にて開催され、インフラ投資の促進と新規産業活性化法 (Jumpstart Our Business Startups Act = Jobs Act) の実施を視野に議論が行われた。国際有料道路協会 (IBTTA) の政策および政府事案担当部長の Mark Muriello 氏は、冒頭より主要点を分かりやすく解説し、各州は柔軟性をもって州の計画を実施すべきで、道路交通料の徴収は、運輸財政の財源と見なされるべきであると述べた。

英国 (イタリア) 2023年3月9日 World Highways

■ イタリアの7本の道路について入札が始まった

Seven Italian road tenders opening

イタリアでは7本の道路で2,140億円 (14億ユーロ) を超える道路工事の入札が行われる。イタリアの主要道路の安全性と通行量を上げる目的があり、維持・改修が予定されている。イタリア全土で多額の資金を投入して実施される。具体的には、トリノとミラノを結ぶA4、ジェノバに近いA26、ローマ北のチヴィタヴェッキア港の主要道路で改良工事が予定されている。

米国 2023年3月9日 WBZ News Radio

■ ボストン地域の高速道路の通行量は、新型コロナ流行前の水準に戻る

Boston Area Highway Traffic Volumes Are Back To Pre-Pandemic Levels

マサチューセッツ州の高速道路システムは、新型コロナウイルス感染症が3年前に流行りだす前とほぼ同じ収益を得ている。マサチューセッツ州交通局のデータによると、同州の有料高速道路通行収益は、ほとんど新型コロナ流行前に戻っている。2023年会計年度の最初の半年で、2億1,590万ドルが徴収され、これは、2019年会計年度の同じ時期に比べ、わずか500万ドルほど少ないだけとなっている (米国の会計年度は10月1日から翌年9月30日まで)。